

合格生徒 親メッセージ

フレンズアップを見つけたのは、中3の5月が過ぎた頃でした。中1で集団塾を一旦やめ、自宅学習をメインに切り替え、通信、オンライン個別、集中合宿など、いろいろなタイプの学習方法をやってみました。ですが、これだと思えるものがひとつもなく、塾探しが終わらないまま、中3になってしまいました。

私は検索魔で、フレンズアップに辿り着くまでかなりの塾を検索しました。検索していた時、この塾は学習知識を与える以外に、人としての学びに触れようとする信念があるのがわかりました。また、入塾に条件を設けていないことも特徴的でした。

都内のいくつか信念を感じた塾がありましたが、他の塾は入塾条件がありました。もしフレンズアップの以外の塾だったら西高へ行きたいと思っても芽生えず、仮に思ったとしても無理だと言われ合格への道は絶たれていたと思います。

フレンズアップは隣の区にあり電車を乗り継ぐ場所でしたが、すぐに連絡を入れました。

いよいよ、塾がスタートし、最初の授業の日、娘から授業内容を聞いて、期待は確信に変わりました。歴史の切り口で数学をアプローチしていて、まるで物語を聞いているようで、とても引き込まれる内容でした。私も通いたい！と思ったほどです。

秋になり高校見学も終わりを迎え、いくつか都立高校の説明会に行きましたが、本人はいまいちピンと来る学校がない様子でした。いよいよ受験関係の書類準備が始まった頃、突然「都立西に行きたい」と言ってきました。

親は全くノーチェック、どこにあるのか場所も知らなかった西高を改めて調べたところ、これまでの延長で頑張るのとは異なる頑張りが必要だとわかりました。すぐに山根塾長に相談しましたが、本当にチャレンジするのか？改めて確認されました。

当然模試の結果は全くなものでしたが、まだ1教科は本格的に手をつけていなかったのも、その教科が完成すれば少しは希望もあるかも？と楽

観的に思っていました。

山根塾長は、残された時間で何ができるか考えてくださり、少しの寄り道も許さない最強の計画を立ててくれました。フレンズアップの良いところは、このような要望に対してできることを考えてくれるとこだと思います。他の塾では無理だと思われるようなことでも、まずどうやったらできるかと最初に想像してくれます。

行きたいと思える学校を見つけた後の娘は、ものすごい集中力でした。自分の時間が勉強に使えない時はひどく悔やむ姿を見て、彼女の時間を100%勉強に使えられれば、結果が出なくても、このチャレンジは良い経験になるに違いない。親のできることは、環境づくりの工夫と、サポートのみだと覚悟しました。

山根塾長の計画がはっきりしてきた頃、前向きに通える有力併願校計画を再度練り直し、併願校追加の相談に乗っていただきました。また最強講師陣は、オリジナルの冊子を用意して頂き、そして、山根式授業の継承者の小林先生は身近な存在で、いつも明るく最後まで娘を前へ前へ引っ張ってくれました。

合格発表では、娘と驚きと感嘆で自然と涙が出ました。このようなミラクルを起こせたのはフレンズアップだったからです。中学卒業式の後娘から渡された手紙の中で「フレンズアップとの出会いは私の人生を変えるものでした。こんな素晴らしい先生方に出会わせてくれたのはあなたがたのおかげです。」と書かれていました。

私は子どもに関心のあるすべての親にフレンズアップをお勧めします。